

第6回 **大蔵谷** 勉強会

日本とバリの伝統文化の共演

講談絵巻ワヤンベベル

旭堂南湖さんが



講談
で



バリの
ワヤンベベル
(絵巻語り)
を公演します。

2月2日(土) ・ 9日(土)

13:30-15:40 (13:10開場)

2月2日(土)

●13:30~14:30 第一部

講談：講談絵巻ワヤンベベル

「スタソマ物語」(前編)公演
・旭堂南湖さん(解説：加藤恭子さん)
(14:30~14:40 休憩)

●14:40~15:40 第二部

アフタートーク

「講談とは？」
・旭堂南湖さん×加藤恭子さん

2月9日(土)

●13:30~14:30 第一部

講談：講談絵巻ワヤンベベル

「スタソマ物語」(後編)公演
・旭堂南湖さん(解説：加藤恭子さん)
(14:30~14:40 休憩)

●14:40~15:40 第二部

アフタートーク

「スマソタ物語ができるまで」
・旭堂南湖さん×加藤恭子さん

講談絵巻・スタソマ物語とは？

スタソマ物語は、古代インドの仏教典が各地に伝わる過程でその地にあった物語へと変化したものです。主にバリ島で親しまれている話で、バリヒンドゥの世界観とも異なります。今回使用する絵巻物は、若手実力派のバリ島画家によって描かれたものです。バリのスタソマ物語を日本伝統芸能の講談で紐解くコラボレーション公演です。

ワヤンベベルとは？

インドネシアで、絵巻物を紐解きながら少人数の音楽と語りで行う絵巻語りのこと。16世紀頃まで行われていました。

主催：神戸学院大学 地域研究センター

電話・FAX :078-974-4232 mail: kamatoko@human.kobegakuin.ac.jp

上記電話が繋がらない場合：080-3929-4974

●講演者のご紹介

旭堂南湖さん

講師。古典講談の継承や探偵講談の復活、新作講談の創造に意欲的に取り組んでいる。日本全国の講談会や落語会で活躍中。平成22年「文化庁芸術祭新人賞」受賞。平成14年「大阪舞台芸術新人賞」受賞。



加藤恭子さん

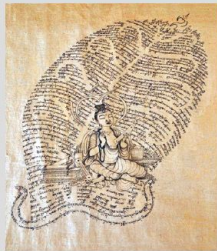
大阪芸術大学にて西洋音楽(ピアノ演奏)を専攻。卒業後、バリに留学。ガムランや舞踊などを学び現在もバリに在住。日本とバリを結ぶアート・プロデュース活動を行う。



●講談で使用される絵巻作家のご紹介

Dewa Sugiさん

画家。1970年生まれ。伝統的バリ絵画の技法を用いながら、独自の感性で古典と斬新さが同居する新しい伝統絵画を生み出す。



入場無料

事前申し込み不要
定員30名

お子様も大歓迎、大学の内外
問わずお気軽にご来場下さい

場所：大塩家

明石市大蔵八幡町5-23

- ・バス：「黒橋」下車、徒歩9分
- ・車：国道2号線の黒橋東交差点を南に曲がり、50m進んだ右側にコインパーキング有り。パーキングから徒歩5分。
- ・電車：山陽電車「大蔵谷」下車、徒歩5分。JR「朝霧」下車徒歩10分。



※大塩家は、大学と地域との交流拠点・研究拠点として7月から地域研究センターが使わせて頂いている町家です。